

令和 5年度施策評価書

政 策	01 共に支え合い豊かに暮らせるまちづくり
施 策	02 安心で良質な医療の提供
主管課	健康づくり課
関連課	健康づくり課、納税促進課、国保年金課、地域包括ケア推進課、病院経営戦略課、新病院建設課、地域医療連携室
施策が 目指す姿	市民/必要なときに安心して医療を受けることができる

方針

令和 5年度	・ 市立総合病院は、引き続き医療技術の進歩及び医療環境の変化に対応するため、診療体制の強化を図る。また、新病院建設に向け、効率的・効果的で質の高い医療提供体制を構築していく。 ・ 在宅療養の需要の増加に伴い、在宅医療と介護の連携を強化するため、多職種連携研修会等を開催するなど、より一層の推進を図る。 ・ 日常的な医療や健康の相談などができるかかりつけ医等の重要性について、焼津市公式LINE等を活用して市民に対して一層の啓発を進める。
--------	--

指標

成果 指標名①	焼津市の医療体制が整っていると思っている人の割合					単位	%
						達成率区分	増加目標
目標値		令和02年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	計画		54	54	54	54	
達成率	実績	53.9	53.1	54.5			
			98.33%	100.93%			
成果 指標名②	かかりつけ医をもっている市民の割合（40歳以上）					単位	%
						達成率区分	増加目標
目標値		令和02年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	計画		70.1	70.1	70.1	70.1	
達成率	実績	70	67.9	70.3			
			96.86%	100.29%			
成果 指標名③						単位	
						達成率区分	
目標値			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	計画						
達成率	実績						

事業費内訳

(単位：千円)

		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
事業費	計画	0	0	16,574,505
	実績	0	0	15,970,890
財源内訳	国庫	計画	0	258
	支出金	実績	0	0
	県	計画	0	9,555,760
	支出金	実績	0	9,005,422
	地方債	計画	0	0
		実績	0	0
	その他	計画	0	116,872
		実績	0	111,626
	一般	計画	0	6,901,615
	財源	実績	0	6,853,842
人件費	計画	0	0	103,943
	実績	0	0	121,508
トータル コスト	計画	0	0	16,678,448
	実績	0	0	16,092,398

評価

施策の 振り返り	・市立総合病院では、効率的・効果的で質の高い医療提供体制を構築していくために、公立病院経営強化プランを令和6年3月に策定するとともに、新病院に必要な医療機能等を維持、強化しつつ、新病院建設に向け、基本設計の見直しを行った。 ・年々増加する人工透析や点滴注射による治療などの医療ニーズに対応していくために4A病棟を血液浄化療法室と点滴治療センターの一部に転換した。 ・地域医療連携の強化に向け、医師会、市立総合病院、市の3者において在宅医療に対するニーズの変化や医療資源の現状について共有をした。また、県の保健医療計画の策定にあたり、本市での「在宅医療に必要な連携を行う拠点」及び「在宅医療において積極的役割を担う医療機関」への位置づけ、「在宅医療圏の設定」などを行った。その後、実務者による具体的な協議を行った。 ・医療と介護専門職の顔が見える関係づくりに資する研修会や意見交換会の実施により在宅医療と介護連携の推進を図るとともに、在宅医療市民啓発講演会を開催し、市民に対し事前に自分の望む医療やケアを考える人生会議の普及啓発を行った。 ・災害医療救護体制の整備のため、医師会、市立総合病院等の関係団体と連携強化に向けた協議や、救護所運営訓練を実施した。また、災害時の健康支援活動の万全を期すため、歯科保健に関する連携協定を歯科医師会と締結した。 ・かかりつけ医等の普及について、市ホームページへ掲載するとともに、健康相談や健康講座実施時などに周知を図ることにより、かかりつけ医を持つ市民の割合の増加につながった。 ・国民健康保険事業において、被保険者の資格管理、医療等の給付、保険税の賦課・徴収を、適切に行った。
施策の 課題	・市立総合病院が果たすべき役割・機能の充実及び医師・看護師・薬剤師等の医療従事者の確保を図り、急性期病院として救急医療・高度医療を提供しつつ、地域医療支援病院として地域の医療機関等への訪問や交流等を積極的に行い、地域医療連携を更に推進する必要がある。 ・市立総合病院は経営改善を進めるため、病院経営強化プランに基づき、医師・看護師等の働き方改革（負担軽減等）と人材育成、DXの推進等効率的な運営に努め、医療提供体制の充実を図るとともに新病院の建設に向け準備を着実に進める必要がある。 ・地域医療連携の強化に向け、医師会、市立総合病院、市の3者において、医療体制の構築に必要な事項を整理し、円滑な病診連携体制及び在宅医療の体制構築に向けて具体的な検討が必要である。 ・後期高齢者の増加に伴い在宅療養者が増加する中、希望された療養生活の実現に向け、医療と介護サービスを切れ目なく円滑に提供ができるよう、更なる連携体制の構築を図る必要がある。 ・生活習慣病対策や在宅医療の推進のため、かかりつけ医を持つことは重要であるため、さらに普及啓発を進めていく必要がある。 ・災害医療救護体制の整備については、救護所の医療資機材を見直し、救護所運営に関する研修会や訓練の充実について継続して取り組む必要がある。 ・国民健康保険事業について、静岡県国民健康保険運営方針に基づく保険料水準統一に向けた取組を、今後も継続して進める必要がある。
市民意見	・焼津市立総合病院には、循環器科がなく他の病院に紹介されるので、市内の病院に受診できるとよいと思うが、一方で、志太地域の3病院で連携して医療を充実させるという考え方もある。整理をした方がいいのではないかな。 ・看護師が不足していると思うので、そのための支援をお願いしたい。 ・在宅医療や介護については、家族も不安に思っている事であるため、在宅生活を支える介護保険制度についてなど知る機会があるとよい。 - また、在宅生活を支えるために女性が離職することもあるので、深掘して考えていく必要がある。